

植物多様性センターの「短枝いろいろ」

果樹林エリアでウメの花が咲いています。ウメの花をよく観察すると、長い枝ではなく短い枝に花が付いているのが分かります。樹木の枝は大きく短枝と長枝に分けられます。一般に短枝には花が付きやすいという特徴があり、ウメやフジなど、短枝のみに花が付く樹も多くあります。短枝と長枝は、樹種ごとに一定の規則を持って付くので、それによって樹形にも特徴が出ます。落葉樹は、葉が落ちている今の時期が樹形観察の適期です。枝の付き方が分かると、離れた場所から樹種が分かるようになって楽しいですよ。



ウメ:庭木としては花が咲かない長枝を剪定して管理する。



フジ:ツル状に伸びる長枝には花芽が付かない。



ヤマボウシ:頂芽が短枝となり、その枝が毎年少しずつ伸びる。



クロマツ:ごく短い枝から2本の葉が出ている。これも短枝。